

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	住居論
科目基礎情報						
科目番号	94040		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設工学専攻A		対象学年	専2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	「住まいを読む－現代日本住居論」 鈴木成文（建築資料研究社）／適宜資料等を閲覧・配布					
担当教員	前田 博子					
到達目標						
(ア)日本の住居の変遷と背景について説明できる。 (イ)住居の地域性について説明できる。 (ウ)町並みを形成する住居と関連制度等について説明できる。 (エ)集住の種類やしぐみについて説明できる。 (オ)快適な居住地を形成するための住民の取り組みの重要性を理解する。 (カ)居住地の現状と問題点を分析することができる。						
ルーブリック						
	最低限の到達レベルの目安(可)					
評価項目(ア)	日本の住居の変遷と背景について説明できる。					
評価項目(イ)	住居の地域性について説明できる。					
評価項目(ウ)	町並みを形成する住居と関連制度等について説明できる。					
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	住居と社会的条件および生活意識との関わりに着目し、日本における住宅の変遷や住様式・住文化の変化を始めとし、住宅および居住地の地域性やまちづくりなどについて理解する。さらに、実例を通して、住居および居住地の環境について、地域性・町並み・集まって住む・住民自身によるまちづくり等まで幅広い視点から考察する。					
授業の進め方・方法						
注意点	(自学自習内容)授業内容に該当する項目について、科目担当教員の薦める文献等で`予め調べ`てく`x000D`。ること。また、授業内容について、決められた期日まで`の課題(レポート)提出を求める。`x000D`。					
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	日本の住宅の変遷			
		2週	日本の住宅の変遷			
		3週	日本の住宅の変遷			
		4週	住宅の地域性			
		5週	住宅の地域性			
		6週	町並みをつくる			
		7週	町並みをつくる			
		8週	町並みをつくる			
	2ndQ	9週	集まって住む			
		10週	集まって住む			
		11週	住民によるまちづくり			
		12週	住民によるまちづくり			
		13週	住民によるまちづくり			
		14週	事例調査およびレポート発表			
		15週	事例調査およびレポート発表			
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合						
	定期試験	課題	レポート	発表	合計	
総合評価割合	40	30	15	15	100	
専門的能力	40	30	15	15	100	